

市民参加に関する新しい事業や取組

(令和2年9月28日から令和2年11月20日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概要	所属
9月28日	<p>食品ロス削減に貢献！レシピ紹介冊子「もったい鍋！ガイドブック」の発行及び人気投票キャンペーンの実施について</p> <p>京都市では、食品ロスの削減に取り組んでおり、株式会社Mizkan Holdingsとの「食品ロス削減に資する取組の連携に関する協定」に基づき、連携事業を実施しています。</p> <p>10月の「食品ロス削減月間」に合わせて、「野菜を無駄なくおいしく食べ尽くす」鍋レシピを紹介する「もったい鍋！ガイドブック」を発行するとともに、レシピの人気投票を行うキャンペーンを実施しました。</p> <p>1 もったい鍋！ガイドブック 配布開始日 令和2年10月1日（木曜日） 配布場所 京都市内のイオン、ダイエー、光洋、エムジー各店ほか</p> <p>2 もったい鍋！人気投票キャンペーン キャンペーン期間 令和2年10月1日（木曜日）～10月31日（土曜日）</p>	環境政策局 循環型社会推進部 ごみ減量推進課
9月30日	<p>京都市観光協会がJTと連携してウィズコロナ時代の京都のまちのたしなみを「京都まちけっと」として発信！</p> <p>新型コロナウイルスの影響で社会が大きく変化し、観光においても、感染症対策や3密回避の実施を前提にしたウィズコロナ時代に則した形への転換を求められています。</p> <p>このような状況を踏まえ、この度、公益社団法人 京都市観光協会(DMO KYOTO)では、マナー啓発や市民参加型の清掃活動等の取組を推進する日本たばこ産業（以下「JT」という。）と連携し、ウィズコロナ時代の観光様式に対応した、新しい京都のまちのマナーやエチケットを共同で探求するプロジェクトを開始します。</p> <p>本プロジェクトでは、観光客や市民の皆様が、京都のまちで安心・安全に、快適に過ごすために、一人ひとりに大切にしていきたい「たしなみ」をJTと共に考案し、「京都まちけっと（「京都の“まち”」と「エチケット」を組み合わせた造語）」として発信します。</p> <p>1 京都まちけっとの内容 京都に来る前の事前準備や、京都のまちで過ごすときに大切にしたい“たしなみ”を紹介します。</p> <p>2 京都まちけっとの展開（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都観光Navi内に専用ページを開設 URL：https://ja.kyoto.travel/withcorona/newmanner 市内の観光事業者の方々が自由に活用できるように、全てのイラストや文言をダウンロードできるWEBページを京都市観光協会公式ページ内に設置 URL：https://www.kyokanko.or.jp/withcorona/newmanner 等 	産業観光局 観光MICE推進室

広報発表日	概要	所属
10月1日	<p>西山文化魅力プロジェクト「洛西ハロウィンフォト散歩」の開催について</p> <p>洛西支所では、地域と連携し、西山文化の魅力を広く発信するイベントを実施することで、若年世代や子育て世帯を中心とした交流人口の増加、さらには定住促進を図っています。</p> <p>ウイズ・コロナでの初の試みとして、西山・洛西の歴史や文化を味わえる社寺等に会場を分散し、募集期間を設け、感染予防策を講じながら、安全に西山・洛西の名所・名跡を巡るイベントとして、社寺等に設置した「妖怪パネル」と撮影した写真を募集するフォトコンテストを以下のとおり開催しました。</p> <p>1 募集期間 令和2年10月24日（土）～11月6日（金） （妖怪パネルの設置期間は10月24日（土）～10月31日（土））</p> <p>2 応募方法 (1) ハロウィンの仮装をして、下記3の場所に設置した妖怪パネルと撮影 (2) ハロウィンフォト散歩ホームページに掲載のメールアドレスに写真を送信</p> <p>3 妖怪パネル設置場所（アクセス等は添付資料「チラシ」をご覧ください） ①ラクセーヌ周辺（終日） ②勝持寺（午前9時～午後4時） ③正法寺（午前9時～午後5時） ④竹林公園（午前9時～午後5時）</p>	西京区役所 洛西支所 地域力推進室
10月7日	<p>「第18回京都学生祭典」の開催について</p> <p>京都市は、38の大学・短期大学が集積している「大学のまち」であり、また、約15万人の学生が学ぶ「学生のまち」でもあります。</p> <p>こうした特徴を持つ京都ならではの取組として、学生が企画から運営までを行い、京都の大学、経済界、地域、行政がオール京都で支援する一大イベント、「京都学生祭典」を平成15年度から実施しています。</p> <p>18回目を迎える今年は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、史上初のオンライン開催というかたちで実施されました。</p> <p>『夢、縁（ゆか）る。』をテーマに、事前に撮影し、編集した迫力あるパフォーマンスをライブ形式で御覧いただく「視聴型」、離れていても繋がりを感じ、実際に自身が体験することができる「参加型」の2種類の企画により、ダンス・食・音楽・クイズなど、多彩なジャンルの企画が実施されました。</p> <p>1 日時 令和2年10月11日（日曜日） 11時～19時</p> <p>2 会場 オンラインにて実施 （特設サイト：https://www.kyoto-gakuseisaiten.com/matsuri-with-corona/外部サイトへリンクします）</p> <p>【主催】京都学生祭典実行委員会（学生による組織） 【共催】京都学生祭典組織委員会 （構成団体）京都市、京都府、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、公益財団法人 大学コンソーシアム京都</p>	総合企画局 総合政策室 大学政策担当

広報発表日	概要	所属
10月8日	<p>中京区の京町家の保全継承について（京町家マッチング制度成立第1号）</p> <p>京都市では、平成29年11月に「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」（以下「京町家条例」といいます。）を制定し、京町家の保全及び継承の取組を推進しています。</p> <p>その取組のひとつとして、本市に登録された不動産関連団体や建築関連団体の専門事業者による、京町家の活用方法の提案及び活用希望者とのマッチングを行う「京町家マッチング制度」を実施しています。</p> <p>この度、京町家条例に基づき解体届が提出された京町家について、京町家マッチング制度の利用により、活用希望者とのマッチングが成立しました。</p> <p>1 マッチング概要</p> <p>(1) 成立日 令和2年9月</p> <p>(2) 賃貸期間 10年間（茶道等の文化体験施設として活用される予定）</p> <p>※京都市中京区の、比較的規模の大きな京町家で、明治初期から中期にかけて建てられたものと推察されます。厨子2階建ての母屋は、出格子、通り庇、虫籠窓等、京町家の特徴を備えています。また京都市中の中心部にあって、広い庭を持ち、茶室が設けられ、自邸で客を接待することを目的に座敷を構えた様式が美しく残り、使われている素材も上質で、貴重な京町家です。</p>	都市計画局 まち再生・創造推進室
10月9日	<p>「N極（NPOを極める！）アカデミー塾」の開講について</p> <p>今日、NPOによる活動は、様々な地域課題の解決に向けた取組として、大きな役割を果たしています。しかし一方で、多くのNPOが人材や財源の確保などの運営面に課題を抱えているという実態があります。</p> <p>そこで、京都市では、京都府との協働事業として、NPOの事務能力の向上等の組織基盤の強化や自主財源の確保に関するノウハウを実践的に習得できる機会を提供し、それぞれの団体が抱える運営面での課題を解決に導く伴走型支援事業「N極アカデミー塾」を開講しました。</p> <p>1 事業の概要</p> <p>本事業では、専門講師の指導の下、少人数制で、自主財源（人材・資金・物資等）の確保につながる実践的なプログラム（全体会：6回シリーズ、集中講座：7回シリーズ）を開催し、受講団体に対する充実した個別サポートにより、NPOのステップアップや活動の継続・拡大を伴走型で支援してまいります。</p> <p>※プログラムは全てオンライン（Zoomの使用を予定）で開催。</p> <p>事業実施期間 令和2年11月上旬～令和3年3月（予定）</p> <p>2 受講対象団体</p> <p>基盤強化により自律的かつ継続的な事業運営を志す、原則として以下の要件を満たす非営利団体。</p> <p>(1) 京都府内に主たる事務所を置く団体であること。</p> <p>(2) 団体の事務局を主として担当する職員等を1名以上有すること。</p> <p>(3) 団体の活動状況について、ホームページ等において情報公開していること。</p> <p>(4) 講座受講の際には、団体から2名以上（少なくとも1名は、理事等団体運営に責任を持つ者又は事務局のマネジメント層を含むこと。）の受講が可能であること。</p>	文化市民局 地域自治推進室 市民活動支援担当

広報発表日	概要	所属
10月19日	<p>包括連携協定大学×京都市中央市場 連携事業「大学生オンライン時短料理教室」の開催について</p> <p>京都市中央市場では、包括連携協定を締結している京都女子大学、平安女学院大学、京都府立大学、京都ノートルダム女子大学及び同志社女子大学と連携し、あじわい館と各大学の学生の自宅を Zoomを活用してリアルタイムで結び、短時間で簡単に作れておいしい家庭料理を学べる「大学生オンライン時短料理教室」をシリーズで開催します。本教室を通じ、学生が「食」の大切さを見つめ直す機会を提供するとともに、若い世代の食育や健康に対する意識の向上につなげます。</p> <p>1 実施内容</p> <p>Zoomを活用したオンライン料理教室です。料理経験の少ない学生でも、電子レンジやフライパンで簡単においしく短時間で作れる家庭料理を、講師の丁寧な指導の下で少人数制により学んでいただきます。また、教室で使用する主な食材については、市場で一括購入し、事前に学生の自宅に無償で配送します（調味料等は各自で用意）。</p> <p>2 日時</p> <ol style="list-style-type: none"> 10月20日（火曜日） 18時半～19時半 10月27日（火曜日） 18時半～19時半 11月 8日（日曜日）13時 ～14時 11月17日（火曜日） 18時半～19時半 12月 3日（木曜日）18時半～19時半 12月11日（金曜日） 18時半～19時半 	産業観光局 中央卸売市場 第一市場
10月20日	<p>伏見港の「みなとオアシス」登録を目指した官民連携の協議会の発足、及び伏見港界限でのキックオフ・プレイベントの開催について</p> <p>京都市及び京都府並びにNPO法人伏見観光協会では、全国唯一の内陸河川港湾である「伏見港」について、国土交通省の「みなとオアシス」への登録を目指しています。</p> <p>この度、伏見港のみなとオアシスへの登録に向けた取組を促進するため、官民連携したオール伏見による協議会を発足し、その発足式を行うとともに、伏見港のPR、地元の機運盛り上げのため、キックオフ・プレイベントを下記のとおり開催しますので、お知らせします。</p> <p>1 協議会の発足式日時について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日時 令和2年10月30日（金曜）午後3時30分～4時30分 (2) 場所 伏見・夢百衆（京都市伏見区南浜247番地） <p>※大正時代に建造された月桂冠株式会社の旧本店社屋を改装した喫茶・おみやげ処</p> <p>【協議会の構成団体】</p> <p>伏見観光協会、伏見酒造組合、洛南保勝会、伏見桃山がんばる7商店街、京阪ホールディングス株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、京都市（伏見区役所、観光MICE推進室）、京都市観光協会京都府（港湾局、都市計画課、京都土木事務所）</p> <p>オブザーバー：国土交通省（近畿地方整備局舞鶴港湾事務所、淀川河川事務所）、京都商工会議所（洛南ビジネスサポートデスク）、京都市交通局、京都府公園公社、一本松海運株式会社 ほか</p>	伏見区役所 地域力推進室 企画担当

広報発表日	概要	所属
10月23日	<p>第3期京都市市民参加推進計画策定に当たっての「京都市市民参加推進フォーラム」からの提言書の提出について</p> <p>京都市では、「京都市市民参加推進条例」に基づき、市民参加を市政運営の柱に据え、平成28年3月に策定した「第2期京都市市民参加推進計画改定版」のもと、参加と協働による豊かで活力ある地域社会の実現を目指して様々な取組を展開しています。</p> <p>5箇年計画である本計画は、今年度で5年目を迎え、少子化、長寿化の更なる進行や担い手不足、SDGs・レジリエンスの重要性の高まり、ウィズコロナ社会への対応など、この間の社会情勢の変化を踏まえ、今年度中に次期計画を策定することとしています。</p> <p>策定に当たっては、本市の附属機関である「京都市市民参加推進フォーラム」において、昨年度から、市民参加の現状や成果、課題等を整理し、次期計画に盛り込むべき内容について議論を重ねてまいりました。</p> <p>この度、同フォーラムから「第3期京都市市民参加推進計画策定に当たっての提言書」を取りまとめられ、下記のとおり提出されました。</p> <p>日時：令和2年10月28日（水曜日） 午後2時30分～午後3時00分 会場：京都市役所北庁舎4階 第一応接室 出席者：</p> <p>(1) 京都市市民参加推進フォーラム 座長 内田 香奈（きょうとNPOセンター法人経営本部副統括責任者） 副座長 壬生 裕子（同志社大学政策学部嘱託講師） 副座長 森川 宏剛（NPO法人京都景観フォーラム専務理事） 他委員4名</p> <p>(2) 京都市 門川 大作 京都市長、下間健之総合企画局長</p>	総合企画局 総合政策室 市民協働推進担当
10月28日	<p>笑いでコロナを吹っ飛ばせ！山科区民写真大喜利大会 大喜利の募集について</p> <p>ふれあい“やましな”実行委員会と京都橘大学まちづくり研究会では、大学生の発想による新たなコラボ企画として、「笑いでコロナを吹っ飛ばせ！山科区民写真大喜利大会」を実施します。令和3年2月14日（日曜日）に開催する「ふれあい“やましな”2021区民ふれあい文化祭」において、大喜利を展示します。</p> <p>1 募集内容</p> <p>山科にちなんだお題に対して、思わず笑いたくなるような大喜利（回答）お題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山科地域のゆるキャラ「もてなすくん」の写真で一言 ・ある日山科川に流れてきた驚きの物体とは？ ・京都橘大学のキャラクター“ひびき”と“いく”の写真で一言 ・山科疏水（琵琶湖疏水）に流れる船。この船はどこに向かっている？ ・山科駅前にある巨大モニュメント「SEED」。あなたは何に見える？ <p>【応募期間】 令和2年11月20日（金曜日）～令和2年12月21日（月曜日） 【展示日時】 令和3年2月14日（日曜日）午前10時～午後3時 【展示場所】 京都市東部文化会館（山科区柳辻西浦町1-8）</p>	山科区役所地域 力推進室まちづくり推進担当

広報発表日	概要	所属
10月30日	<p>「新しい地域活動スタイル」ICTツール導入サポートについて</p> <p>京都市では、ウィズコロナ社会において、安心して地域活動に取り組んでいただくため、これまで「新しい地域活動スタイル普及促進事業」（令和2年7月補正予算）を推進してきました。</p> <p>この度、本事業の取組の1つとして、非接触で感染予防を講じながらコミュニケーションを図ることができるICTツールについて、以下のとおり地域団体等への導入支援をスタートしました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ICT導入マニュアルの作成・配信 地域団体が、地域活動にICTを導入する際に参考としていただくためのマニュアルを作成・配信します。 ICT導入「体験研修会」の開催 ICT導入に関心のある地域団体を対象に、ICTの活用事例やその効果を紹介するとともに、「ICT導入マニュアル」等を活用して、参加者同士で実際に「オンライン会議」等を体験いただき、導入イメージ・意欲を高めていただきます。 ICT導入「出前研修会」の開催 実際にICTの導入を予定する地域団体を対象に、実際の活動に対応した機能の紹介、端末やアプリの基本操作の説明、それぞれの団体の実情に即したアドバイス等を個別に行い、実践的なスキルや運用方法を習得していただきます。 	文化市民局 地域自治推進室 地域づくり推進 担当
11月10日	<p>【京都市交通局×ハンケイ500m】市バス沿線チョコレートめぐり リーフレットを制作しました！</p> <p>京都市交通局では、市バスの更なる魅力発信とバス停周辺の新たな観光資源の掘り起こしを目的に、フリーペーパー「ハンケイ500m」を制作する株式会社ユニオン・エーと連携し、バス停から「ハンケイ500m」の範囲で京都のこだわりの店舗を紹介するリーフレットを制作しました。</p> <p>今回は、市バス・地下鉄を利用して行くことができる、冬の時期にぴったりなチョコレートスイーツを扱う京都市内の店舗を多数掲載しています。また、掲載店舗の中で京都GoToEatキャンペーン「プレミアム付食事券」が利用可能な店舗につきましては、誌面にロゴマークを貼付していますので御確認下さい。</p> <p>さらに、リーフレット持参でお得な店舗特典や、本リーフレットに関するアンケートに回答いただいた方へのプレゼント企画も実施しますので、是非お手に取って御覧ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リーフレット配架開始日及び配架場所 令和2年11月24日（火曜日）から、市バス全車内（車両前方付近）にて配架します。 <p>【参考1】フリーペーパー「ハンケイ500m」について フリーペーパー「ハンケイ500m」とは、株式会社ユニオン・エーが制作しており、京都市バスのとあるバス停から半径500mの円内をくまなく歩き、独自の哲学、ポリシーを持った「職人」を発見、特集するフリーマガジンです。隔月10日、3万部を発行しており、地下鉄駅構内にて配架しています。</p> <p>【参考2】京都GoToEatキャンペーンについて 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店を応援するため、京都府内の飲食店（要登録）において利用できるプレミアム付き食事券を販売する飲食店利用促進キャンペーン。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4,000円で5,000円分の食事券を購入（要申込）することができます。 	交通局 自動車部 営業課 営業推進担当

広報発表日	概要	所属
11月13日	<p>「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」による「マイ文化」フォト&ムービーコンテストの開催について</p> <p>「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」（以下「文化庁チーム」という）は、平成28年11月に、文化庁の京都移転を契機に、「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え、連携して互いの取組の推進を図るなど、市民ぐるみで行動することを目的に結成されたチームです。</p> <p>この京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組む文化庁チームの活動の一環として、「文化はチカラ」を合言葉に、「#マイ文化」のハッシュタグを付けて、自分だけのオリジナルの文化を発信する、SNSを活かしたプロジェクトに取り組んできました。</p> <p>この度、コロナ禍で今まで見過ごしてきたかもしれない、暮らしに息づく文化を改めて感じ、文化の力が広がるよう、「マイ文化」をキーワードとして、コロナ禍においても変わらない「マイ文化」や、コロナ禍だからこそ生まれた新しい「マイ文化」等に関するフォト&ムービーコンテストを実施します。</p> <p>1 募集テーマ 「マイ文化」</p> <p>※マイ文化：文化庁チームから生まれた言葉。人は、それぞれ個人個人のオリジナルの嗜好性、流行しているものと、興味関心（例：マイブーム）を持っているが、その中でも、「文化」の領域に関するマイブームを「マイ文化」と呼ぶ。</p> <p>2 応募期間 令和2年11月15日（日曜日）～令和3年1月11日（月曜日）</p>	<p>総合企画局 総合政策室 SDGs・市民協働 推進担当 文化庁移転推進 室</p>
11月20日	<p>令和2年度論文コンクール「わたしはこう考える」の作品募集について</p> <p>京都市・区明るい選挙推進協議会及び京都市・区選挙管理委員会では、自由な意思をもった自覚ある有権者を育成することを目的に、選挙・生活・社会に関する5つのテーマを設定し、次代を担う若者たちからの意見や主張を募集します。</p> <p>1 応募のきまり</p> <p>(1)テーマ（次の中から選択）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィズコロナの時代 ～私たちにできること～ 2. わたしが政治家だったら 3. 身のまわりの国際化 4. わたしたちは怒っている 5. わたしが見つけた環境問題 <p>(2)応募資格</p> <p>令和3年1月18日現在、市内在住又は市内へ通学・通勤する中学生以上満18歳未満の方（高校生は応募可）。</p> <p>(3)応募方法 本文1,000字～1,200字（400字詰原稿用紙に縦書き）</p> <p>(4)締め切り 令和3年1月18日（月曜日）必着</p> <p>2 表彰等</p> <p>(1)発表 3月上旬の予定（広報発表するとともに、学校または本人にお知らせします。）</p> <p>(2)賞 最優秀賞（約5点）、優秀賞（約5点）、入賞（約30点）、京都新聞賞※（5点）</p> <p>※最優秀賞の5点に京都新聞賞を授与</p>	<p>選挙管理委員会 事務局</p>